

人口定着

やまむろ

山室地区(二期)

(富山県富山市)

- 計 画 期 間 平成 22 年度～平成 26 年度
- 面 積 231 h a
- 交付対象事業費 2,170.1 百万円
- 市人口 410,214 人

ポイント

いつまでも住みたくなる「自然と調和した快適なまち」を目指す

地区概要

H17 以降、土地区画整理事業をはじめとした各種事業を推進し、利便性が高く潤いある居住環境形成を目指した整備を進めてきた。引き続き各種事業の推進を行うことで、地区外への人口流出を食い止める。

目 標

- ①いつまでも住みたくなる住環境整備
- ②新たなコミュニティの創出

指 標

区画整理事業と道路整備をすることにより、整備後に世帯数の増加及び地域活動が活発化される相乗効果を目指した。

項 目	現況値	(年)	→	見込み値	(年)
区画整理地区内の新規住宅累積着工件数	185 棟	(H20)	→	278 棟	(H26)
地区内人口	9,598 人	(H21)	→	9,598 人	(H26)
交流施設の利用者数	20,198 人/年	(H20)	→	20,298 人/年	(H26)

事業内容

基幹事業 (2,107.5 百万円) → 道路(幅員 4~16m、延長 1,518m)、区画整理事業 (51.4ha)

提案事業 (62.6 百万円) → 歩行者空間整備事業(幅員 3~16m、延長 1,180m)、事業効果分析

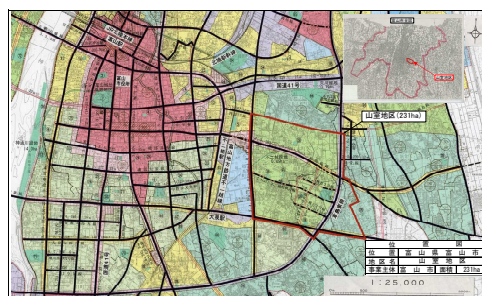
完了地区 富山県



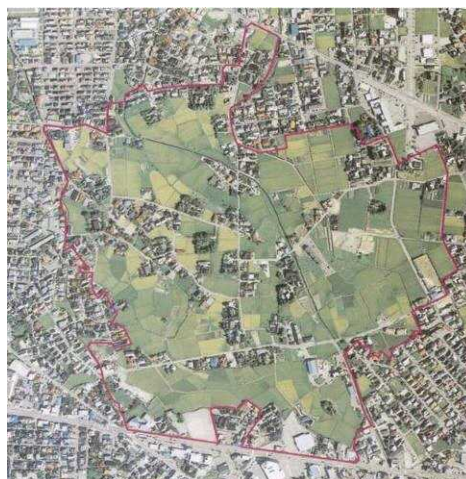
地区の現況と課題

本地区は、地区内に小学校や高等学校、病院、体育館等の施設が点在する住宅地区である。昭和初期には県下有数の大規模工業施設(株不二越)が富山地方鉄道不二越・上滝線沿いに立地してから、社宅等の開発行為により急速な市街化が進められた。

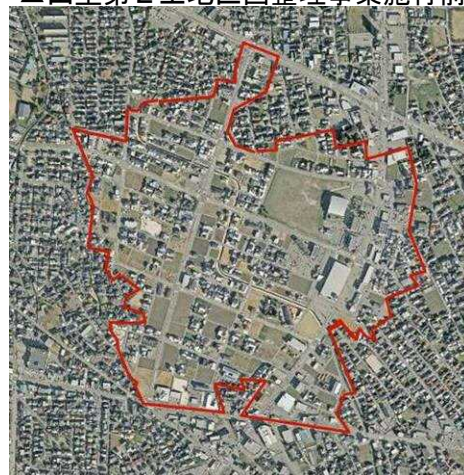
しかし、昨今の景気低迷による影響で企業の人員削減や規模縮小が進められた事により空き家が増加し、また少子高齢化に加え、生産人口世代の地区外への移転によりまちの空洞化が進み、住民間のコミュニティが希薄となるなど、まちの活力が失われつつある状況である。このため、旧社宅である既存住宅団地と周辺地域における人口流出の抑制、地区内でのコミュニティの活発化を図る必要がある。



▲山室地区の位置



▲山室第2土地区画整理事業施行前



▲山室第2土地区画整理事業施行後
(平成27年)

提案事業の特徴

歩行者空間整備事業

多様化し、増大する交通需要を山室第2土地区画整理事業の整備に伴い安全かつ効率的に処理し、快適な日常生活を営むための整備を図る。

事業効果分析

事業効果の分析を実施し、今後必要とされる事業や新たなまちづくりの課題、目標などの整理を行う。

計画策定プロセス

市道整備事業施工箇所

当箇所は、一部未改良のため交通の利便性が悪く、地元から早期整備要望も出ており、改良が急務である。このため計画的に改築を行う。

区画整理事業との連携

地域の交流の場である富山市2000年体育館や、街区公園へのアクセスの向上を図るため、区画整理事業と道路事業を連携しながら整備する。



▲富山市2000年体育館